



誠心ファミリー

第6号

発行日 平成11年2月15日
 発行者 誠心会会長 下采一彦
 呉市本通6-2-23 ☎0823-25-0460

議会協議会 での質疑

予想通り破綻した呉ポートピア 市の責任と土地の賃借権を質す!!



▲ポートピアの跡地利用問題を質す谷本議員

平成10年8月4日呉市では、116億円もの負債と70億円もの累積赤字を抱えて破綻した呉ポートピアランドについての、報告を議題とした議会協議会が開催。谷本議員は質問に立ち、経営に失敗したのは、議会はもちろんのこと、市にも責任があるとの立場から、市の認識を質すと同時に、「銀行融資の抵当の一つに挙げられている土地の賃借権が、今後の跡地利用に障害になってくるのではないかと」見解を尋ねました。

当時呉市がポートピアに貸していた土地は、平成22年までの契約となっており、賃借権が担保になっている以上、契約期間が切れるまで市が自由に土地を利用できない懸念がありました。

ところがその後の特別清算手続きの経緯を踏まえ、11月2日に2度目の議会協議会が

開かれ、市は、土地の賃借権の契約解除を10月6日に清算人に通知した旨を報告。谷本議員は、「契約を一方的に解除できるのか」、その根拠について質問しました。これに対し市は、①ポートピアは賃借権の主張は一切しない②事業の結果如何に関わらず市に経済的損失を与えないとの契約内容になっているため賃借権は生じない、との見解を明らかにしました。それを受けて谷本議員は、「そのような契約内容を、ポートピア誘致を承認した当時の議会や、融資元の銀行団に説明していたのか」と質すと、そこまではしていないと返答。「議会や融資元が正しい判断をするためにも、情報をもっと公開すべき」と要望しました。

谷本議員は続いて跡地利用について市に注文。都市計画で公園に決定されている現土地は、確かに現段階では公園以外に利用できないにしても、「それでは天応福浦沖に現在埋め立て中の土地と合わせ、広大な土地をただ借金を残したまま造成し、更に公園としての管理費が財政を圧迫する」と指摘。「2年後に完了する天応福浦の埋め立て地を、新たにポートピア跡地の代替公園として都市計画決定すれば、跡地を住宅用地として民間に売却することも可能になる」と根拠を提示しつつ、不景気で市の財政状況が厳しい今日、ごみ消却施設建て替えや海事博物館建設と大型投資が目白押しの中、「安易に投資や管理費に税金を投じるようなこれまでの財政運営から脱却すべき」と、公園への跡地利用はあくまで暫定的にすべきだと訴えました。



▲閉園前日、なごりを惜しむ人でにぎわった呉ポートピア

総務水道委員会・活動報告

議会各委員会で、生の議論傍聴規制の解除を!! 情報公開制度の先進都市・札幌、石狩市を視察



▲石狩市で情報公開条例の説明を受ける谷本議員

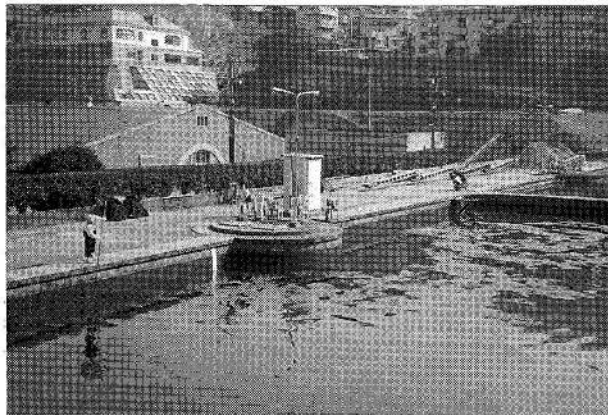
平成10年6月議会で、谷本議員は総務水道委員に任命されました。同委員会は総務、財政、税制、消防局、水道局等に関連する事項を所管しています。

谷本議員は同委員会の一行として、呉市が平成11年度から導入しようとしている情報公開制度を先駆けて取り入れている札幌、石狩両市を7月28・29日に訪問。その条例制定の経緯や内容について説明を受けた後、細部にわたり質問しました。

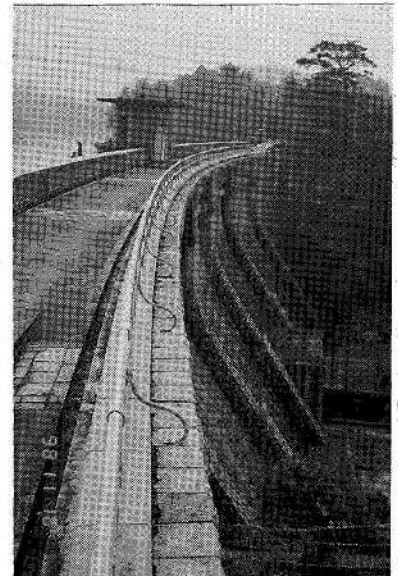
呉市の条例案では議会内の情報公開が遅れており、各委員会の議事録公開は当然として、「形骸化した本会議より、ぶっつけ本番で激論が交わされる各委員会にこそ市民傍聴の門戸を開くべき」と、谷本議員は主張しています。

本庄水源地、二河峡取水口、 宮原浄水場を視察 **水道局**

平成10年11月16日、谷本議員は総務水道委員会の所管である呉市水道局を個人で視察。呉市の水がめ・本庄水源地、二河川中流での源水の取水口、源水を飲み水である浄水に浄化させる宮原浄水場各施設で職員から説明を受けました。



▲呉市民に飲料水を供給する宮原浄水場



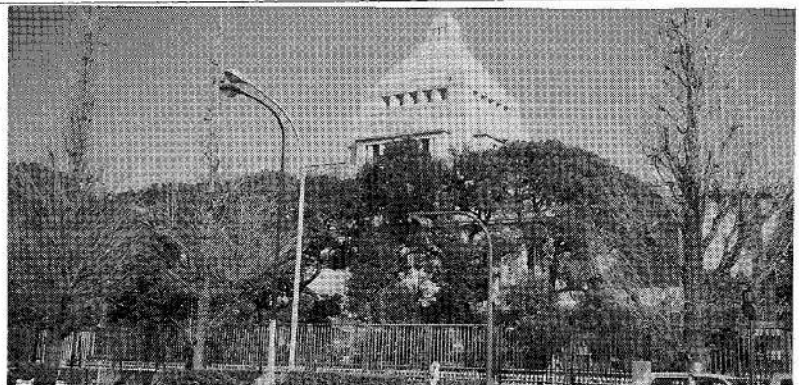
▲本庄水源地のダム要壁

呉市の水道は旧海軍からの遺産で、広島市の戸坂水源地や東広島市の三永水源地の水利権を確保しており、数年前の異常渇水時においても近隣町と比べ、断水を免れています。

特別交付税増額を 国会議員に陳情!

谷本議員は2月3日、総務水道委員会陳情団の一員として上京。国から呉市への特別交付税増額を地元選出国會議員に要望しました。

特に自民党本部では池田行彦政調会長、国会内では、同議員が秘書を勤めていた恩師である中川秀直衆議



▲中川秀直議会運営委員長に国会議事堂で面会

院議会運営委員長に面会。平成9年度の10億6千万円の交付措置を踏まえ、10年度は12億円を郷土のために支出して頂けるよう、自治省や大蔵省への働きかけをお願いしました。

ボランティア優遇税制創設を進言し、実現!!

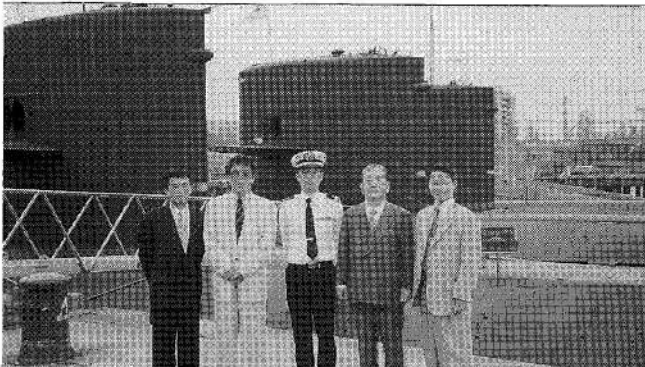
平成10年、NPO（特定非営利活動促進）法が制定されたのを受け谷本議員は、12月1日施行を前に、同法で今後の課題となっている優遇税制を「呉市独自で先駆的に導入すべき」と、市の関連部署に要望。その結果、谷本議員の要望通り、平成11年度からNPO登録団体のみならず、呉市独自の登録ボランティア団体にも、法人市民税の均等割り5万円を免除することが決定されました。

同法では、ボランティア団体に法人格を与えて活動を側面から援助することを目的としているにも関わらず、肝心の法人税の減免措置にまでは踏み切れていません。そこで谷本議員は、呉市がボランティア活動を支援・育成するために、税制面の次に、「印刷機の無料使用を、これまでの一部団体から呉市登録団体にまで対象を拡大し、きちんと制度化すべき」と、市当局に要望しました。



▲市へ要望する谷本議員

海事博物館に全国初の潜水艦見学ルートを!!



▲海上自衛隊の潜水艦を見学した谷本議員(右)

呉市は、宝町埋め立て地に建設予定の海事博物館に隣接し、実物の潜水艦を浮かべたことを平成10年の基本計画に盛り込みました。旧海軍と共に育った呉市の造船技術資料に加え、戦艦大和コーナーや潜水艦の中を見学できるコースを設定すれば、全国に類を見ない平和学習を目的とした博物館になります。

谷本議員は同年5月5日、呉海上自衛隊のアレイからすこじま埠頭に浮かぶ潜水艦「はましお」の艦内を特別見学しました。

誠心会親睦行事 江田島・みかん狩りに82名が参加!!

平成10年11月29日、誠心会では2年ぶりに、「家族そろって、みかん狩りと焼き肉パーティー」を開催。谷本議員の実家のある江田島町のみかん農園に、谷本夫妻とその2才になる長男・聖純（せいじゅん）君を含む82名が参加しました。

パーティーではカラオケやビンゴゲームに景品付きと盛り沢山で、皆大喜びでした。



▲焼き肉パーティー

誠心会役員会 後援会活動、終盤戦に向け本格始動!!

▶抱負語る谷本議員



1月30日、ビューポートくれにて誠心会第9回役員会が招集され、26名が出席。4月の選挙戦を目前に控え、今後の活動方針を決定し、その中で、決起集会開催案が原案通り可決されました。

それを受けて2月4日には、コスモスの集い（誠心会婦人局）第6回役員会が開催。21名が出席し、決起集会に向けての動員方法等が確認されました。

議員3周年 谷本誠一市政報告会に130名!!

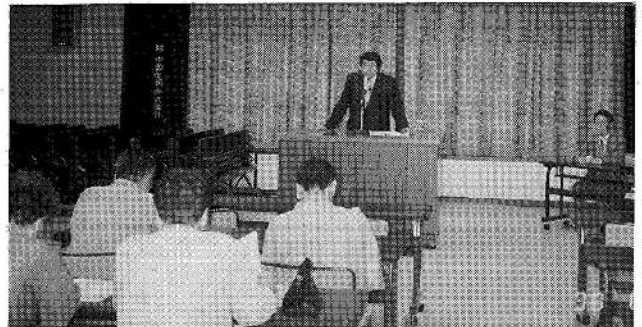


平成10年4月26日、誠心会は毎年恒例となった本通小学校体育館での谷本誠一市政報告会を開催。会場は前回より20名多い130名の支持者で熱気が渦巻きました。谷本議員は3月定例議会での予算審議報告を中心に、持論の市営バス、音戸ロッジの民営化論を展開。建設委員長就任後の舞台裏での苦労話も織り混ぜ、「改革には痛みが伴うもの」と、訴えました。

▲今年も全誠心会員に呼びかけて地道に市政報告する谷本議員

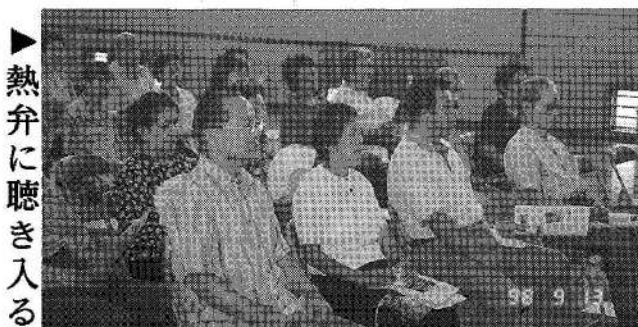
天応地区市政報告会 大屋橋交差点の交通安全対策を提唱

平成10年6月13日、天応公民館で、天応地区市政報告会を開催、37名が参加しました。谷本議員は、国道31号線と焼山からの呉環状線が交差する大屋橋が、JR踏み切りのそばでもあるため、呉市内でも有数な交通の難所であると指摘。渋滞緩和や交通安全上、いくつかの改善策を例示する中、クリアライン側道の一層の活用を通じて、少しでも危険を回避できると、地元の運動の高まりを期待しました。



▲副幹事長が前座を務めた天応地区報告会

宮原地区市政報告会 坪ノ内再開発で官民住宅街の創出を



▶ 熱弁に聴き入る

9月6日には、宮原小学校体育館にて宮原地区市政報告会を開催、33名が集まりました。谷本議員は、呉市が計画中的の坪ノ内地区再開発に関し、既存市営住宅の高層建て替えと共に、民間住宅ゾーンの創設、公園の確保、国道の拡幅、宮原通りと国道との循環的機能での連結等を列挙。呉湾を眺望できる日当たりの良い優良住宅地を官民で供給すべきと主張しました。

広地区市政報告会 古新開区画整理で街の活性化を推進

12月8日は、広青年教育センターで広地区市政報告会を開催、28名が駆けつけました。谷本議員は、現在呉市と一部地元住民が激しく対立している古新開区画整理事業について言及。広駅前区画整理が、以前地元の同意を得れず断念し、道路網や下水道整備が遅れていることを例示。土地の減歩等困難な課題を、大局的見地から乗り越え、痛みの伴う事業に協力してこそ街づくりが進むと理解を求めました。



◀ 本音語る谷本議員